

平成 22 年 4 月 6 日現在

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2007～2010

課題番号：19530217

研究課題名（和文） 国際貿易が所得に与える影響についての理論的・実証的研究

研究課題名（英文） A theoretical and empirical analysis on the effect of international trade on national income

研究代表者

遠藤 正寛（ENDO MASAHIRO）

慶應義塾大学・商学部・教授

研究者番号：80281872

研究代表者の専門分野：国際経済学

科研費の分科・細目：（分科）経済学 （細目）応用経済学

キーワード：国際貿易、直接投資、所得、賃金、経済成長

1. 研究計画の概要

国際貿易が各国の所得に与える影響を理論的・実証的・多角的に分析するのが、本研究プロジェクトの目的である。これは、大きく3つの分野に分かれる。

(1) 国際貿易が各国の平均所得に与える影響：「国際貿易 経済発展」の関係を見るだけでなく、国際貿易が経済発展に与える影響の効果波及経路を1つ1つ理論的に検討し、それらの効果を実証分析によって比較する。

(2) 国際貿易が各国の平均所得の収斂・拡散に与える影響：先行研究では貿易の活発な国々の間では所得の収斂が見られるという結果を得ている。これは(1)の効果波及経路のうちどの経路に強く依存しているのか確かめる。

(3) 国際貿易が国内各経済グループの所得に与える影響：国際貿易が国内の所得分配に影響を与える伝統的な経済モデルを応用して、両者の関係を世界の国々を対象にして調査する。

2. 研究の進捗状況

上記「1. 研究計画の概要」に挙げた3つの課題のうち、(1)と(3)について研究が進展している。

(1) については、国際貿易と補完的な関係にある国際金融の視点から、分析を進めている。国際的な資本移動の拡大が各国の所得・賃金に与える影響を、投資の収益率から推計する方法を用いて考察した。データは2000年代のOECD加盟10カ国間のもので、分析においては直接投資と間接投資、そして母国

要因と受入国要因に分けている。投資の収益率では、フィンランド、スウェーデン、イギリス、アメリカが母国の直接投資で収益率が高く、他方受入国要因は直接・間接投資のどちらもどれほど大きくなかった。直接投資と間接投資の収益率の差を経営資源の収益率と捉えると、上記4カ国の会社の経営資源は他国と比べて高いといえる。また、各国の所得や賃金については、投資によってもたらされる技術や知識の国内他産業への伝播がなく、かつ名目額での評価であるが、外国からの投資をより多く受け入れている国ほど一般にそれによって所得や賃金が上昇する。

(3)については、日本の製造業を例にして、1990年代後半から2000年代前半のデータを使い、企業の生産物と競合する最終財の輸入や企業の生産に必要な中間投入財の輸入が、企業雇用者の雇用者数や賃金に与える影響を調べた。推計式は費用関数を用いている。その結果、企業の生産物と競合する最終財の輸入と雇用者数・賃金との明確な関係は観察されなかった。また、企業の生産に用いる中間財輸入の増加は学歴の比較的低い、勤続年数の比較的短い労働者の賃金を引き下げるという結果を得た。ただ、この影響は男性労働者で強く観察され、女性労働者については関係は曖昧である。

なお、(2)については現在研究に着手していない。

3. 現在までの達成度

やや遅れている

（理由）

本研究においては、先行研究とは異なる新

たな分析枠組を考案することを目指していたが、その分析枠組の構築に時間を要してしまったため。しかしその結果、上記(1)については新たなモデルを構築し、分析に適用できた。ただ、(3)については、時間が限られているため、既存の分析方法をほぼそのままの形で使用した。

4. 今後の研究の推進方策

上記(1)と(3)の両方について、主要な分析結果はすでに得ている。研究期間が残り1年を切り、今年はそれらの結果をワーキングペーパーの形にまとめ、国内・海外の学会発表を通じて修正し、学術雑誌へ投稿する。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計1件)

遠藤正寛、OECD 諸国における経営資源の収益率の推計、三田商学研究、第50巻、85-98、2007年、査読なし。

[学会発表](計4件)

遠藤正寛、資本の国籍、市場の質に関する慶応 - 京都国際コンファレンス、2009年3月14日、シェラトン都ホテル東京(東京都港区)。

遠藤正寛、資本の国籍、横浜市立大学セミナー、2009年2月3日、横浜市立大学(神奈川県横浜市)。

遠藤正寛、国際資本移動の決定要因：OECD加盟諸国を例に、中京大学経済研究所セミナー、2008年12月5日、中京大学(愛知県名古屋)。

遠藤正寛、日本の製造業における輸入と付加価値の関係、アジア太平洋貿易セミナー、2007年7月7日、中国財経大学(上海、中国)。

[図書](計0件)

[産業財産権]

出願状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

[その他]
特になし